

水産資源の新しい可能性を考える

平成23年度宮崎県水産振興大会

功労者・水産業優良経営者表彰式



CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政



- 平成23年度宮崎県水産振興大会
- 宮崎南小学校「食の参観日」
- お魚料理講習会（宮崎農業高校）
- 第12回シーフード料理コンクール
- 2011カツオフォーラムin枕崎
- 平成23年11月属人水揚げ表

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報



- 2011年度決算税務研修会
- 宮崎県漁協職連ボウリング大会
- 平成23年度漁協組合長研修会

BUSINESS

業務情報



- 宮崎県漁協系統購買事業推進委員会
- 宮崎初かつおフェア実行委員会会議

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報



- 人事異動
- 平成23年度第4回理事会
- 魚乃里ぎょれん丸
年末年始の営業について

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



- 平成23年度
水産試験場研究成果発表会
- 11月の動き（県関係）

RELATED ORGANIZATION

関係機関



- 浮魚礁利用協議会第2回委員会
- (社)大日本水産会
平成23年度水産功績者表彰式
- 宮崎県旋網漁業組合第4回役員会
- 宮崎県・大分県旋網漁業連合協議会
- 11月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



平成23年度宮崎県水産振興大会について

11月12日(土)、宮崎県水産会館において平成23年度宮崎県水産振興大会(主催 宮崎県・水産9団体)を開催し、水産功労者・水産業優良経営者表彰式が執り行われた。

冒頭、丸山県漁連会長が開会を宣言、河野俊嗣知事が主催者を代表し挨拶を行った。引き続き岡村農政水産部長が審査経過を報告し、知事より水産功労者2名、水産業優良経営者延べ24経営体に賞状を授与し、榮譽を称えらるとともに日頃の労をねぎらった。これに対し功労者表彰を受けた佐藤元久氏が謝辞を述べた。

本年度は、ブランド認証品試食会も合わせて行った他、表彰後に次世代を担う若者の意見発表ということで、海洋高校生により取り組み事例の発表と、小中学生代表の宇戸田こはくさんによる作文の発表が行われた。



みやざきの魚を見て触れて楽しもう！「地産地消交流給食会」 宮崎南小学校「食の参観日」

去る11月8日、学校給食を通して食育・地産地消への理解・推進を図ろうと(財)宮崎県学校給食会が主催する「地産地消交流給食会」に昨年に引き続き参加した。

食材の生産者との交流・展示として、本会からは、イセエビやちりめん・しいら・底曳網で水揚げされた魚を展示した。

普段なかなか見る機会のない大きな魚を実際に見たら触れたりし、魚の種類や漁法、捌く前の魚がどのようなものかを見てもらった。漁業に関する質問も多く、感心の高さがうかがえた授業となった。



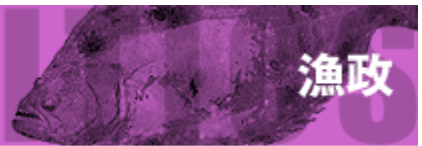
大きいカツオに悪戦苦闘 お魚料理講習会 (宮崎農業高校)

去る11月7日、宮崎農業高校においてお魚料理講習会を開催した。

当日は通常の講習サイズより大きい4kg~5kgのカツオで調理を行い、あまりの大きさに悪戦苦闘しながら捌いた。かつお1本釣り漁法の説明の際、胃袋から餌となるイワシを取り出すと驚きつつも興味津々で関心の深さが伝わった。

出来上がった「かつおたたき・かつお飯・かつおカツ・かつお炙り」は大変好評で、また捌いてみたいとの感想をいただいた。





シーフード料理コンクール 2年連続最優秀賞を受賞



12月4日、東京 服部栄養専門学校において「第12回シーフード料理コンクール」が開催され、9月に本県コンクールにおいて最優秀賞を受賞した延岡学園 井本優香さんが「お魚料理チャレンジ部門」に出場、応募総数2606点の中から選ばれた13名が2部門で実技を行い、昨年に引き続き最優秀賞である「農林水産大臣賞」を受賞した。今回のコンクールは「お魚料理で元気になろう！」をテーマに井本さんは地元で水揚げされたマグロを使い「ゴマをまとったマグロのソテー・アジアンテイスト」を披露、見事全国1位を獲得した。(メニューレシピは本誌9月号に掲載されております)

2011 カツオフォーラム in 枕崎

2011カツオフォーラムin枕崎(日本カツオ学会・カツオフォーラムin枕崎実行委員会)は、11月13日(日)水産(漁業者、加工、流通、販売など)の関係者、研究者、自治体、地域住民 約250名参加の下鹿児島県枕崎市南薩地域地域産業振興センターにおいて開催された。

今回のフォーラムは鹿児島大学水産学部・鹿児島県漁連・山川町漁業協同組合他後援の下、地域や産業の垣根を取り払い、カツオの情報交換及び発信するフォーラムと位置付けられ、カツオの資源管理問題やカツオの機能性が議論され、カツオ生産日本一での地で今後の可能性や問題点を共有する場となった。開催内容は以下の通り。

1.オープニングアトラクション

原耕物語(劇団 ぶえん)

2.枕崎カツオマイスター検定認定書授与式

3.開会挨拶

- ①日本カツオ学会 若林会長
- ②枕崎市 神園市長

4.来賓祝辞

- ①大日本水産会 重専務理事
- ②鹿児島県議会 上杉議員

5.講演の部

- ①基調講演「カツオをめぐる国際環境と日本」(東京海洋大学大学院教授 末永芳美)
- ②特別講演「東日本大震災とカツオ漁業」(水産庁資源管理部課長補佐 高瀬美和子)

6.テーマ部会の部

第1部 カツオの資源と漁労技術

司会進行: 不和茂(鹿児島大学水産学部教授)

- ・「カツオの生理生態と漁法」: 安楽和彦(鹿児島大学水産学部准教授)
- ・「カツオの曳縄漁具の運動と漁獲機構」: 江幡恵吾(〃)
- ・「枕崎の水揚げ状況から見たカツオ資源」: 市田恵八朗(枕崎漁協副組合長)

第2部 カツオの機能性と地域に根ざした利活用

司会進行 受田浩之(高知大学副学長)

- ・「かつお節の不思議～DHAの存在～」: 和田俊(東京海洋大学教授)
- ・「食としてのカツオの成分の魅力と機能価値」: 久塚智明(㈱FTBプランニング代表取締役)
- ・「かつお節を使った楽しい食育」: 大富あき子(鹿児島純心女子短期大学講師)
- ・「かつお節と多岐にわたる食品素材への取り組み」: 西村協(枕崎加工組合組合長)

7.枕崎大会宣言

8.閉会挨拶



平成 23 年 11 月属人水揚げ表

漁協名\区分	11月分			11月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	2,363	225,937	96	31,764	2,072,727	65	27,142	1,921,437	71	4,622	151,290	-7.8
島浦町	1,079	211,762	196	10,617	1,566,202	148	10,347	1,619,474	157	270	-53,272	-5.8
延岡	21	10,696	501	339	119,705	353	482	192,947	401	-143	-73,242	-11.9
延岡市	73	30,926	423	1,020	505,154	495	1,047	536,914	513	-27	-31,760	-3.4
庵川	135	74,803	553	1,552	584,230	377	1,503	594,225	395	49	-9,994	-4.8
門川	32	17,025	535	418	208,519	498	507	266,589	526	-89	-58,070	-5.2
日向市	345	276,957	803	3,224	2,042,790	634	3,801	2,266,600	596	-577	-223,810	6.2
都農町	45	42,116	940	368	230,957	627	311	209,754	675	58	21,204	-7.1
川南町	299	240,842	807	3,034	1,949,788	643	3,239	2,240,696	692	-204	-290,908	-7.1
一ツ瀬	12	8,032	682	145	98,633	681	152	103,233	679	-7	-4,599	0.4
檮浜	5	3,200	633	91	34,283	377	150	48,499	323	-59	-14,216	16.7
宮崎	62	43,429	700	934	391,157	419	1,246	459,731	369	-312	-68,574	13.5
宮崎市	53	50,907	963	726	435,680	600	758	442,725	584	-32	-7,045	2.7
日南市	508	284,535	560	8,225	3,224,726	392	8,937	3,287,268	368	-713	-62,542	6.6
南郷	976	429,104	440	18,162	6,224,753	343	19,039	6,203,937	326	-877	20,816	5.2
栄松	61	28,207	462	1,549	560,504	362	1,467	458,796	313	82	101,708	15.7
外浦	326	127,232	390	6,489	2,098,506	323	6,505	1,921,821	295	-16	176,685	9.5
串間市東	52	28,925	555	1,355	456,693	337	1,137	466,411	410	218	-9,718	-17.8
串間市	0	187	482	5,219	2,963,810	568	5,321	3,118,292	586	-102	-154,482	-3.1
合計	6,447	2,134,822	331	95,230	25,768,817	271	93,089	26,359,348	283	2,142	-590,530	-4.4

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。



人と自然との調和

粒状粉石けん
コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう!

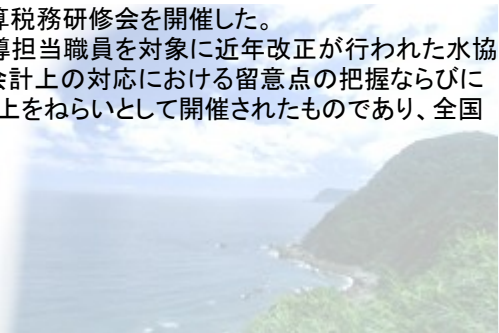
資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ



2011年度決算税務研修会

全 漁連は、11月24日に東京都コープビルにおいて2011年度決算税務研修会を開催した。この研修は、連合会及び1県1漁協の総務・経理及び漁協指導担当職員を対象に近年改正が行われた水税法・政令・規則等の決算作業に関連する内容と、それに伴う会計上の対応における留意点の把握ならびに平成23年度税制改正の概要等、必要な知識の習得と実務能力の向上をねらいとして開催されたものであり、全国から約80名が参加した。研修内容は次のとおり

1. 過年度遡及会計の適用にかかる対応について
2. 損益計算書等の作成にかかる留意点について
説明者：JF全漁連 信用・組織指導部
3. 平成23年度税制改正概要について
講師：河野利明事務所 税理士 河野 利明氏



宮崎県漁協職連ボウリング大会

宮 崎県漁協職員連絡協議会(委員長・大坂憲司)は、県南地区は11月12日(土)日南ボウリングセンターにて、県中地区は12月9日(金)宮崎フェニックスボウルで平成23年度ボウリング大会を開催した。結果は次のとおり。

地区	県南地区
日時	平成23年11月12日(土)
場所	日南ボウリングセンター
参集範囲	JF日南市～JF串間市
参加者数	36名
優勝	吉田勝明(JF日南市)
2位	山本潤二(JF南郷)
3位	大阪憲司(JF日南市)
団体優勝	JF日南市

地区	県中地区
日時	平成23年12月9日(金)
場所	フェニックスボウル
参集範囲	JF都農町～JF宮崎市、系統団体
参加者数	43名
優勝	秋元啓助(漁連)
2位	藤田菜々美(信漁連)
3位	日高大輔(漁連)
団体優勝	漁連



平成23年度漁協組合長研修会

平 成23年度漁協役職員研修事業の一環として、漁連・信漁連・共水連の共同主催による漁協組合長研修会を開催した。

内容については、東京都千代田区の砂防会館「シェンバハ・サポー」で開催された「漁業用燃油にかかる軽油引取税の免税措置の恒久化等を求める全国漁業代表者総決起集会」への参加となっており県下漁協から18名の組合長が参加したほか、全国から約1500名の漁業代表者が参集した。

集会では、全漁連服部会長が「2012年3月末に期限が到来する軽油引取税の免税措置、農林漁業用A重油の石油石炭税の免税・還付措置が打ち切りになれば全国で新たに約130億のコスト増となる。また、A重油についても約25億のコストが新たに発生する。免税措置が打ち切りられればわが国漁業者は廃業に追い込まれ、漁業は崩壊する。全国の漁業者の声を総意として確認し、漁業燃油にかかる免税措置等の恒久化を求め我々JFグループは断固として闘い抜く」と述べた。

最後に、全員で恒久化実現を目指す決意のシュプレヒコールをあげた。集会後は参加者全員が国会・議員会館周辺及び霞ヶ関をデモ行進、衆・参両党の玄関前で与野党の代表に請願を行った。



FISHERY MANAGEMENT

宮崎県漁協系統購買事業推進委員会

漁 連は平成23年11月25日に宮崎市の水産会館4F第1研修室において系統購買事業推進委員会を開催し次年度の経済事業計画等について協議した。開会に先立ち、11月22日(火)に発生したJF川南町所属光栄丸の海難事故で亡くなられた方々に対し黙祷によりご冥福をお祈りし開会となった。先ず報告事項として、委員・幹事の変更について事務局より説明。続いて委員長である漁連の妹尾専務より県下の水揚げ状況、直近の石油情勢並びに本会議の趣旨説明を兼ねた開催挨拶後、協議に入った。妹尾委員長を議長に、各担当者より平成23年度取扱見込み(10月末実績+11月~3月推進計画)及び平成24年度計画について内容を説明し、出席委員・幹事より意見を求めた。全事業について異議なく承認され、12月16日に開催される組合長・参事合同会議において提案されることとなった。



宮崎初かつお焼っ切りの提唱！！ 宮崎初かつおフェア実行委員会会議開催

去 る11月17日(木)宮崎県水産会館において、宮崎初かつおフェア実行委員会会長・宮崎県おさかな普及協議会連合会会長下野和文氏をはじめ、いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会会長・宮崎県漁業協同組合連合会会長丸山英満氏など、生産者や卸売り市場、量販店、消費者、行政など、関係者が出席して、第3回宮崎初かつおフェア実行委員会会議が開催されました。開会に際して下野会長から、日頃のお礼や最近の情勢、本日の審議内容のお願いなどの、あいさつがあり、続いて議事として事業計画案及び収支予算案について事務局から説明がありました。説明後、委員から開催期間についての質疑が出されましたが、これまでの開催期間が一回目から6日、7日、11日、10日、29日、38日と順次延長されているおり、延長すれば経費も嵩むこともあり、もう一年38日とすることとしたいとの事務局の補足説明やその他の委員から提案された期間でよいとの多くの意見が出て、案のとおり3月30日(金)から5月6日(日)までの38日間とすることが決定されました。また、新たに初かつお焼っ切りを提唱することも了承され、さらに収支予算案では、前回通り負担金や協賛金を主体とした収入とし、メディア等を使ったPRを実施する支出とすることが了承されました。続いて、今後のスケジュールについては、3月10日(火)~15日(金)にポスター・のぼり等の納品、関係先配布とし、3月中旬に「宮崎初かつおフェア2012」の記者発表、ポスター掲示、ホームページ等によるPRを開始、3月30日(金)宮崎市中心卸売市場にて、のぼり渡し式を開催し、フェアの開始、その日のうちに知事等への表敬訪問を行い、「宮崎初かつおフェア2012」の開催を報告する予定の説明があり、了承されました。以上のとおり、宮崎初かつおフェア実行委員会会議は、予定の議事を終了しました。



♪海とっしょに 浜とっしょに♪

元気に暮らそう JF 共済

チョコ くらし カサデ リン

ねんきん がんきん なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

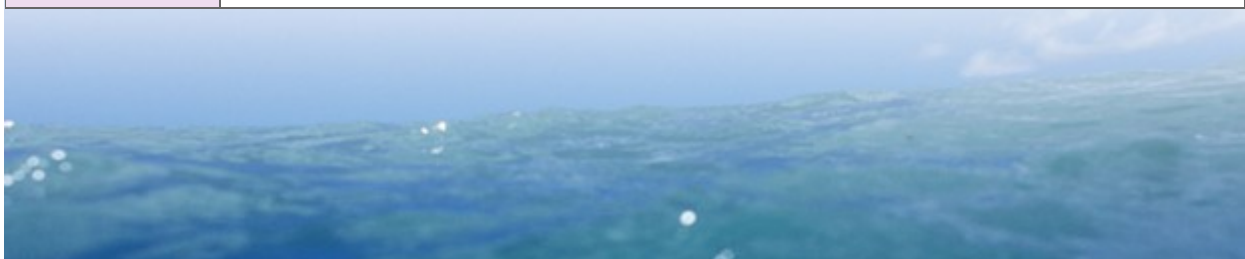
<http://www.kyosui.or.jp>

今後のスケジュール

時期	内容
平成23年 11月17日(木)	第3回実行委員会会議 「宮崎初かつおフェア2012」事業計画・収支予算案の承認
12月上旬～ 2月下旬	・協賛金募集の協力依頼 ・「宮崎初かつおフェア2012」の参加店舗への協力依頼
平成24年 2月10日(金)～ 15日(水)	・ポスター・のぼり等の発注
1月下旬 2月上旬	・広告企画会社のプレゼンテーション ・広告企画会社決定及び通知
3月10日(火)～ 15日(金) 3月 中旬 3月30日(金)	・ポスター・のぼり等の納品、関係先配布 ・「宮崎初かつおフェア2012」記者発表 ・ポスター掲示、ホームページ等PR開始 ・のぼり渡し式(中央卸売市場)フェア開始 ・知事等表敬訪問
5月6日(日)	フェア終了
6月中旬	実行委員会会議(報告会)

「宮崎初かつおフェア2012」事業計画

目的	全国に先駆けて本県で水揚げされるカツオを県内の消費者へ広くPRし、更なるカツオの認知度向上及び消費拡大を目指す。
期間	平成24年3月30日(金)～5月6日(日)の38日
場所	県下全域
参加予定	鮮魚店・量販店…150店 料理・飲食店…45店 漁連・漁協直営店…5店 (新規)ホテル・旅館・料理飲食店…20店 計 220店
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.メディア等を使ったフェアのPR <ul style="list-style-type: none"> ・地元4社による広告企画のコンペを実施して、企画会社を選定するとともに、画会社を通じたPRを実施する。 ・ホームページを使ったPR ・情報誌によるPR(記事掲載の協力依頼) 2.ポスター、のぼり、タペストリーによるPR <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの作成・のぼりの増し刷り・タペストリーの作成 3.のぼり渡し式(市場にて開催) <ul style="list-style-type: none"> ・3月30日(金)午前5時45分から午前6時まで宮崎市中央卸売市場内 魚せり場にて 4.宮崎県知事への表敬訪問等 <ul style="list-style-type: none"> ・3月30日(金) 5.特別協賛によるPR(協力依頼) <ul style="list-style-type: none"> ・JR九州宮崎総合鉄道事業部による日南線観光列車「海幸山幸」にて、県内外乗客に対するPR 土曜・日曜・祝祭日運行:計15回、主要駅でのPR ・空の玄関口、宮崎空港ビルにおけるPR 6.かつお関連イベントによるPR(協力依頼) <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県おさかな普及協議会連合会 ・上記以外の団体 7.協賛金募集の協力依頼 8.「宮崎初かつおフェア2012」の参加店舗への協力依頼 9.漁業者等に対する「宮崎初かつおフェア2012」への協力依頼 初かつお水揚げ量の確保、鮮度保持等 10.その他 <ul style="list-style-type: none"> ・カツオ料理「焼っ切り」の提案



人事異動一覧

平成23年12月12日付

氏名	新	旧
小林 庸春	定年により退職	北浦事業所長 北浦製氷工場長

平成23年12月13日付

氏名	新	旧
荒井 慶一	北浦事業所長 北浦製氷工場長	土々呂製氷工場長
甲斐 浩	土々呂製氷工場長	北浦事業所係長
小林 庸春	北浦事業所再雇用職員	北浦事業所長 北浦製氷工場長

平成23年度第4回理事会

漁連は、12月2日(金)水産会館第一中研修室において、平成23年度第4回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

報告事項

- (1) 人事異動について
- (2) その他(農水官房検査について)

附議事項

- 第一号議案 平成24年度事業運営構想に関する件
- 第二号議案 平成23年度下期修正計画に関する件
- 第三号議案 石油類の価格改定に関する件

魚乃里 ぎょれん丸 年末年始の営業について

ぎょれん丸では12月30日～1月4日まで年末・年始により、休業日とさせていただきます。

来年も良い年でありますように。



JF宮崎漁連直営店

魚乃里 ぎょれん丸

宮崎県水産物ブランド品が食べたい!

【営業時間】
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30
 金～日 AM10:00～PM8:00
【レストラン】
 昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)
 夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30
 PM 5:00～PM8:30
【問い合わせ】
 〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地
 TEL.0985-28-6114

年末・年始の営業の御案内
 いつも当店をご利用いただきましてありがとうございます。
 年末年始の営業につきまして御案内致します
 ・年末：12月29日(木)まで
 ・年始：1月5日(木)から
 となっております。

FISHERIES CO-OPERATIVE

平成23年度水産試験場研究成果発表会開催 — 研究企画 —

日 頃から水産試験場の試験研究の推進にご理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。
水産試験場は、主に海面を担当する資源部、増殖部、生物利用部と内水面を担当する小林分場の3部1分場体制で、資源部は「漁業の効率化と資源の適正管理のために」、増殖部は「豊かな海づくりのために」、生物利用部は「水産物の安全性と品質向上のために」、小林分場は「内水面の多面的機能の活用のために」をキーワードに試験研究に取り組んでいます。

現在、県では、平成23年6月に策定された「第5次宮崎県水産業・漁村振興長期計画」により、「資源回復と経営力の強化による持続可能な水産業・漁村の構築」、所謂、「儲かる水産業の構築」を基本目標に掲げ、様々な施策に取り組んでおります。

水産試験場では、これらの取り組みを支援するために、「儲かる水産業を支える水産技術の開発」と「技術開発を担う試験研究体制の整備」に取り組んでおり、特に、「儲かる水産業を支える水産技術の開発」については、大きな推進の方向性として、「水産資源の回復と持続的利用(資源回復)」、「効率的生産による漁業経営の安定(コスト削減)」、「消費者に信頼される水産物の供給(魚価向上)」の三つの柱により試験研究に取り組んでおり、平成23年度の試験研究課題としては、「水産資源の回復と持続的利用」で延11課題、「効率的生産による漁業経営の安定」で延9課題、「消費者に信頼される水産物の供給」で7課題の合計・延27のテーマ(小課題)により、今年度から新たに取り組んだ〇カツオ・マグロ類の漁場予測技術の高度化による操業効率化技術の開発に関する研究、〇養殖新魚種としてのマサバ等種苗生産技術開発、〇藻場の餌料生産機能の把握と効率的利用法に関する研究、〇魚価アップのための高品質化技術の開発及びマニュアルの作成、〇内水面における魚類等生息環境の把握など40程の事業に取り組んでいます。

一方、平成22年度に終了しました9課題につきましては、生産者(漁協青壮年部連絡協議会会長、漁村女性連絡協議会)と、消費者、関連業界関係者、関係機関・団体関係者、学識経験者で構成されます宮崎県農政水産部試験研究評価検討委員会等において、これらの試験研究で得られた結果が、現場で求められている成果となっているかの審査を頂きました。

その結果、「ねらいどおりの成果があり活用が期待できるもの」8課題、「現段階では活用できないが継続することで期待できる等」1課題と評価されました。

当試験場では、これら試験研究で得られた成果を現地研修会や漁業者の皆様方の勉強会、あるいは普及指導員を通して速やかにお知らせして、水産業の推進に活用していただけるよう努めているところです。

また、試験研究の成果を広く御紹介し、関係者の皆様方から御意見を直接いただき、今後の研究の推進に活用することを目的に、標記発表会を毎年開催しております。

今年度は、下記のとおり開催しますので、是非、御来場ください。

記

1. 月日時


平成24年1月13日(金) 午後1時00分から午後3時00分

2. 場所

水産会館5階 大会議室

3. 発表者並びに発表課題と概要(内容が一部変更されることがあります)

(1)小林分場 主任技師 児玉龍介

課題名	チョウザメ種苗生産技術の最適化について	 <p>シロチョウザメ稚魚</p>
概要	水産試験場では、平成16年にシロチョウザメの完全養殖に成功し、現在、養殖用種苗の安定供給を目的として、種苗生産技術の最適化に取り組んでいます。そこで、平成23年春期の種苗生産試験で得られた成果についてご報告します。	

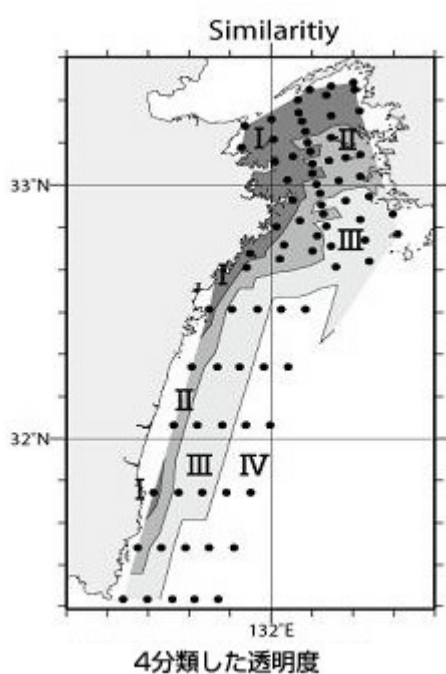

(2)生物利用部 主任技師 南隆之

課題名	蓄養マアジの品質向上に向けた取り組みの提案について
概要	県北域で漁獲・蓄養されるマアジは一部ブランド魚として出荷・流通されていますが、季節毎の蓄養期間や流通中の品質等が不明で、生産者から科学的根拠に基づいた蓄養技術の確立が望まれていました。蓄養マアジのさらなる品質向上のため試験研究に取り組んだ結果、得られた成果を活用して「マアジ蓄養・出荷マニュアル」を作成しましたので、ご紹介します。


マアジ蓄養・出荷マニュアルの記載項目等

区分	マニュアルに示した蓄養・出荷時の要点(抜粋)
漁獲～畜養	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄養可能期間は7～30日程度(冬～春に漁獲されたものに限る)。 ・産卵期は肉質が低下しやすいので取扱に注意が必要。 ・産卵期に給餌蓄養(週1回程度)すると肉質改善が期待される。
水揚げ	<ul style="list-style-type: none"> ・魚、氷、海水のバランスに注意。 ・水氷にCO₂を添加すると活け締め時の作業性向上が期待できる。
箱詰め 輸送保管	<ul style="list-style-type: none"> ・魚の保存温度は5℃以上10℃未満を目標に維持するよう注意。 ・梱包資材にスポンジを使用すると適温に近い温度で輸送できる。

(3)資源部 主任技師 渡慶次 力

課題名	海洋観測からみえてきた日向灘の海況変動特性について	 <p>Similaritiy</p> <p>4分類した透明度</p>
概要	 <p>白色セッキ板(透明度の測定器具)</p> <p>水産試験場では、数十年にわたって、水温、塩分、流向・流速などの海洋観測を実施しています。今回は、基礎生産の指標となり海況も示す透明度に注目して、その季節や経年変化の特性と変動の原因となっている日向灘周辺の海洋構造の特徴について報告します。</p>	

(4)増殖部 主任技師 平山仁斗

課題名	カワハギの種苗生産技術開発について	 <p>カワハギ稚魚</p>
概要	カワハギは、非常に美味しく料理方法も多彩であり、特に、肝臓、いわゆる「キモ」が珍重されます。特に、養殖魚の単価は天然魚以上にもなり、新たな養殖魚種として期待されていたことから、水産試験場では、平成18年度より種苗生産技術開発試験に取り組んできました。今回は、その研究の中で技術開発した成果について報告します。	

記載順は、発表順番と異なることがあります。

研究員は日頃の成果を皆様方にご披露できる晴れの舞台と考え、張り切り、楽しみにしておりますので、多くの方々にご来場、ご意見をいただき、有意義な発表会になること期待しているところです。

11月の動き (県関係)

1日	第351回宮崎県海区漁業調整委員会(宮崎市)
12日	平成23年度宮崎県水産振興大会(宮崎市)
14日	太平洋広域漁業調整委員会(東京都)
24日	平成23年度全国水産試験場長会全国大会(宮崎市)

浮魚礁利用協議会第2回委員会

宮 崎県浮魚礁利用協議会(会長 矢部廣一)は去る11月21日、水産会館4階において第2回委員会を開催した。協議内容については下記のとおり

- (1)地区部会での協議結果について
- (2)ルール違反への対応について
- (3)役員の補充について
- (4)支部会費について
- (5)地区部会規約について
- (6)全体会議の開催について
- (7)その他

(社)大日本水産会 平成23年度水産功績者表彰式

11 月25日(金)、東京都港区三会堂ビルで、明治23年から続く歴史ある(社)大日本水産会平成23年度水産功績者表彰式行われ、宮崎県定置漁業協会の岩切幸久会長が水産功績者として表彰を受けた。表彰者は42名で、岩切会長は沿岸漁業関係の6名の中での受賞となった。岩切会長の父、岩切学氏が平成12年度に、祖父の稲田榮氏が昭和40年度に同賞を受賞していることから、3代続く受賞となった。



宮崎県旋網漁業組合第4回役員会 宮崎県・大分県旋網漁業連合協議会

宮 崎県旋網漁業組合(会長 菅野教義)は、11月11日(金)大分県佐伯市 ホテル金水苑において第4回役員会を開催すると共に、大分県海区と宮崎県海区における旋網漁業相互入会協定の有効期間満了に伴い、大分県旋網漁業協議会(会長 鳩石英世)と宮崎県・大分県旋網漁業連合協議会を開催した。同協議会では相互入会について協議が行われ、その結果、入会については現状通り継続することで合意されたことから、宮崎県海区漁業調整委員会に対して協定の継続を申し入れた。



11月の動き

7日	お魚料理講習会(宮崎農業高校)	21日	浮魚礁利用協議会第2回委員会
11日	宮崎県旋網漁業組合第4回役員会	25日	宮崎県漁協系統購買事業推進委員会
12日	平成23年度宮崎県水産振興大会		

忘れてませんか?あなたの命を守る大切なもの。
救命衣、着用していますか?

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111